

(別紙4(2))

事業所名 認知症高齢者グループホーム宇賀の杜 楽舎

## 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 11 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症の症状を今より悪くならないように、維持・向上できる支援を考える。	歳を取っても、夢や想いのあるべき人生に向けて、日々スタッフが利用者様に寄り添い、生活をする。	スタッフが協力し、強いチームワークの上に成り立つ、利用者さま本意の質の高いケアの提供。 ①利用者さまの話しをよく聞く ②利用者さまと一緒に食事作り	すぐに実行
2		〃	〃	③歩け運動・体操などスタッフも見守りや、一緒に参加する ④利用者様のやりたい事など、出来る限り寄り添い、支援する ⑤たまには、わがままを聞く	すぐに実行
3		外出支援や地域へ出向く機会を増やす。	①おしゃれ②美味しい物を食べる③外へ出る事の喜びをキーワードに、ワクワク・ドキドキを感じて頂く。楽しさや一瞬の笑顔をいつまでもあじわってもらう。	外出する為に、身体機能の維持、向上を。日々の中で継続した取り組みを行う。(歩け運動・体操・他の活動)また、どこに行きたいか？何がしたいか？など利用者さまの要望や声を聞き(汲み取り)、実現に向けて支援・工夫をしていく。	すぐに実行
4		〃	地域とのつながり・・・地域へ出かけ、いつまでもつながりを持ち、理解・協力を得る。(行事・俳句会・老人会等やボランティアさんとの関わりなど)また、個々の過去歴、人間関係を大切に、なじみの関係を閉ざさない配慮を続ける。	楽舎では1年に2回大きな行事がある。①平田福祉フェスティバル(9月)②ありがとう会(12月)。他にも季節ごとの行事を設け、利用者様にその都度呼びかけ、「〇〇に向けて頑張ろう・・・」と目標を掲げ、それに向かって刺激ある生活をして頂く。	すぐに実行
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。